

広報事業における当該年度に特に力を入れた取組一覧

市民交流部広報課

1 広報誌「広報たからづか」の編集・発行

広報たからづか定期号を12回、臨時号を3回発行した。毎号特集に力を入れて取り組んだ結果、第31回近畿市町村広報誌コンクールにおいて「映画のまち 宝塚」を特集した10月号が優秀賞を受賞、「時間をかけてしっかり仕上げている、宝塚市の魅力が存分に味わえる工夫がいっぱいである」との評価をいただいた。

また、広報たからづかに掲載している各記事にID番号を付与し、市ホームページにてそのID番号を検索すると広報たからづかに掲載している内容もしくはそれ以上の情報を入手できるよう広報誌とホームページの連携を図った。

さらに、直接説明することにより理解が深まるような事業、施策については、エフエム宝塚のゲストコーナーを活用し、担当職員が出演して説明する取組も行っており、広報誌とエフエム宝塚との連携も図った。

2 市ホームページによる情報発信

平成26年(2014年)12月から職員が簡単にページを作成、更新できるシステムを導入しており、各課において積極的に情報を発信した(H30ホームページ更新回数:3,665回)。ホームページの操作方法についての問い合わせが多く、各課が迅速に情報発信できるよう、随時対応している。また、施設情報のページにバリアフリー情報を追加したほか、イベントカレンダーの検索機能を充実するなど、見やすい、分かりやすいホームページを目指して取り組んだ。

3 広報板を活用した情報発信

市内235基の広報板を活用し、市の施策やイベント、地域のイベントなどのポスターを掲示した。掲示依頼件数が増加傾向であり、情報発信のツールの1つとして、活用されている。担当課で実施した参加者アンケート集計結果によると、約15%の参加者が広報板を見てイベントを知り、参加したとの回答があった。

また、広報板の掲示物への雨除け対策として、平成29年度(2017年度)からアクリルカバーを設置しており、平成30年度(2018年度)は6基にカバーを設置し、令和元年(2019年)9月現在では15基に設置している。掲示物への雨除け対策はもとより、掲示ボードの長寿命化にもつながるほか、地域からも好評をいただいている。

4 パブリシティによる広報活動

市長定例記者会見、記者レク、資料提供などにより、報道機関等へ市政情報を提供し、新聞では平成30年度(2018年度)において延べ580回もの記事が取り上げられ、その他テレビでの報道もされ、市内外に広く情報を発信することができた。